

令和5年10月吉日

各位

四條啜学園短期大学 教学委員会
副学長・教学委員長 工藤真由美

「教員相互による公開授業参観」の実施について

平素より本学の教育・学生指導にご尽力賜り、心より厚く御礼申し上げます。

コロナ禍により休止しておりました「教員相互による公開授業参観」を、今年度後期より下記の通り再開、実施いたします。

教員相互に授業を公開、参観することにより、自身の授業改善、学生の学修成果向上に役立てることを目的とします。授業担当の先生方におかれましては、下記期間中の「すべての授業の公開」をお願いする次第です。

参観者がいることで授業の進行および学生の学修に重大な支障が生じる懸念のある場合を除き、参観をご許可下さいますようお願い申し上げます。また、参観される場合は可能であれば事前に授業担当者に一言、お声がけいただけますと幸いです。

以上、何卒ご理解いただき円滑な実施にご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

記

実施期間：令和5年11月13日（月）～11月17日（金）

公開授業：上記期間中に実施されるすべての授業

参観回数：専任教員…1回以上、非常勤の先生方…任意

※参観後、『公開授業参観報告書』のご提出をお願いいたします。なお、本報告書は本学ウェブサイトにて公開を予定しております。

【ご提出方法】

①ユニパにログイン

②「共通」→「アンケート」→「アンケート回答」→「公開授業参観報告書」

設問：授業を参観してのご感想、ご意見等を記述してください。（300字以内）

〆切：令和5年11月30日（木）

以上

*お問合せは、担当教学委員（工藤・安谷・鍛冶谷）までお願いいたします。

公開授業参観報告書 保育学科

	参観記録記入者名	参観実施日	参観授業科目名	授業担当者名	授業を参観してのご感想、ご意見等
保育学科	合田 誠	11月13日 (月)3時間目	乳児保育Ⅱ	木村先生先生	学生に興味・関心をもたせるための導入として、今朝の最低気温が今秋、最低気温となった具体例を提示し体調管理の大切さをさりげなく触れられ、実習前の学生にはよく浸透できたと思われた。 授業内容は風船ペーパーサート制作とその使用についてであった。参考になったのは、単にペーパーサート制作方法に力点を置かず、そのねらいを学生たちにグループで相談させるように流れをつくり、最終的には学生の種々のアイデアを发出させるに至った点である。
	金川 朋子	11月13日 (月)5時限	幼児と環境	松下 明日香	授業の流れを学生が理解して、主体的に取り組む様子が見られた。継続的な取り組みを松下先生が実践されてきたのだと思いました。グループワークを授業に取り入れ、学生同士が話しあう姿も見られ、アクティブラーニングの重要性を感じました。ペア作りの方法が、学生が周りの様子を意識できるような方法であり、自分から話しかける、ペアを組むといった行動が、就職後にも活かせると思いました。 事例検討では、実務家教員として、松下先生が保育現場で経験されてきたことをもって取り入れて説明されることで、より具体的な指導内容が展開できるように思いました。
	鍛冶谷 静	11月16日 (木)3時限	子ども家庭福祉	阪野 学	家庭支援に関連する講義科目を参観者も担当しているため、教授内容や学生の受け止めに関心があり参観させていただいた。学生は課題シートを傍らに置き、教科書の重要事項を追っていきながら課題シートにも随時記入していた。教科書の重要事項の記載箇所は、パワーポイントで明示され大変分かりやすい。課題シートは授業内容の復習、定着に効果的と思われた。 ただ、①学んだ事②①より分かったこと③②より考察できる事、それぞれどのような内容を書くのか参観者には分かりにくかった。学生には模範解答を示し添削して返却されているとのこと。双方向のやりとりで努めておられ、まさにアクティブラーニングだと思った。
	阪野 学	11月15日 (水)2時限	教育実習指導Ⅰ	阪江 豪	1月に実施される幼稚園実習の授業と云う事で学生たちの真剣度が感じられる授業であった。 当日の内容は、実習記録の書き方で実践的な内容であり、教員が実際に記入例を記入LOHPで映写し分かりやすい方法で行われていた。教員は学生たちの反応を確認しながら進められており学生からの質問もあり双方向のやり取りがあり学生の理解も出来ている様に見受けられた。
	香月 欣浩	11月14日 (火)1時限	幼児と環境	松下 明日香	以下の点で刺激を受けました。感謝しています。 ・予習に時間に大切な言葉を繰り返し使用されていたことで、重要性の理解と記憶の定着につながると感じた。 ・緻密な授業計画による進行で無駄がなく、学生も飽きることなく最後まで集中できていたように感じた。 ・一方的な授業ではなく、二人組になっての意見共有、クラス全体の意見共有もできており、メリハリのある生き生きとした授業だった。 ・テキストを読み込む際、視点(子どもの言行動・保育者の関わり)を持った読み方を指示されていて、私の授業にも取り入れたいと思った。 ・かなりたっぷり「考える時間」が保証されており、学生は安心して事例を読み込み、とらえていた。
	木村 美佳	11月16日	幼児と音楽Ⅳ	千田 森	1回の授業で学生がいろいろな楽器に触れるよう、時間を決めて移動するなど、集中できる授業となっていた。 教員の数が多く、学生が疑問に感じておすぐに修正ができ、手強い指導ができていたことがみられた。 千田先生は授業の最初に、今後の見通しを伝えて、今日行わなければならないことを明確にしていたため、毎回の授業で予定を伝えることを実践していきたいと感じた授業でした。
	千田 耕太郎	11月17日 (金)4時限	幼児と言葉	阪江 豪	阪江先生が話し出すと、自然と学生が静かになり、普段から学生と良好な関係が築かれていることが伺えた。 模擬設定保育のような形で、導入→絵本読みみかせ→締め言葉、という流れで順次発表を行ったが、学生は皆自信を持って活き活きと発表し、聴く側に回っても楽しんで前向きに聞いていた。 最近の学生は、多人数の前で発表するのを嫌がる傾向を感じていたが、いい意味で裏切られ、授業の環境づくり、学生同士、学生と教員との関係づくりの大切さを再度学ばせて頂いた。
	森 麻希子	11月17日 (金)5時限	幼児と図工Ⅱ	香月 欣浩	絵本作家 谷口智則先生を招いての授業。授業担当の香月先生と谷口先生が綿密な打ち合わせがされているのがよく分かる内容だった。 学生の自由な想像力・創造力を引き出す工夫が随所になされていた。 谷口先生による絵本の読み聞かせから、物語の自由な世界を体感した後、クリスマスプレゼントのモチーフが描かれたA4用紙に自由に絵を描き、受講生全員で即興のお話作りをするというものだった。 自由な発想をすることに得手不得手がある学生がいる中、根気強く学生の想像力を引き出しながら、世界観を広げていく様は見事であり、協同して一つのもの作り上げることの喜びが感じられた。
	阪江 豪	11月17日 (金)5時限	幼児と図工Ⅱ	香月 欣浩	本時は、ゲストティーチャーとして本学リサーチ・アドバイザーである谷口智則氏を招いた授業であった。 学生に対する授業の導入として、谷口氏の紹介と活動を提示し、期待と学びへの意欲をもてるように関わり、活動時にも学生の姿を認められるような関わりを行っていた。 学生も積極的に授業に参加し、絵本作りを通して本物に触れ、子どもへの保育実践に対するイメージが持てるような授業であったと感じる。
	松下 明日香	11月13日 (月)4時限	特別支援教育総論(障害児保育含むⅡ)	金川 朋子先生	授業参観をさせていただき、学生が集中しやすく、見直しをもって参加しやすい授業の工夫や配慮について多くの学びを得ることができました。スライドには目次と講義の進行状況が視覚的に示してあったり、集中の切れてくる授業中盤に動きのある楽しい活動を組み込んだりと、学生目線で学びやすい環境をつくっておられ、これらを自身の講義にも取り入れていきたいと思えます。

公開授業参観報告書 ライフデザイン総合学科

ライフデザイン総合学科	工藤 真由美	11月17日 (金)2 時間目	ICDコーディング実務演習Ⅱ	久保 覚司	2年生対象授業で履修者は全員出席。私語は一切なく、学生は集中して教員の説明に耳を傾け作業に没頭しており、学習の雰囲気は極めて良好である。教員の説明も簡潔で穏やかである。説明があっさりしているのは少し気になったが、学生が優秀なため繰り返しの説明を要しないのかもしれない。学生の様子によっては細やかな説明が必要になるかもしれない。資料の訂正がやや多い。学習環境としては、隣の教室の音が漏れすぎて、集中している学生の妨げにならぬよう改善の余地を感じた。
	中川 玲子	11月17日 (金)1時限	子育て支援	阪野 学	授業はPowerPointにより、授業内容、ねらい、教科書の該当箇所などが示されており、大変わかりやすい。授業は教員による解説と、学生によるテキストの音読が交互に行われていた。教員による解説は、大きな声で、ゆっくりなされ、メリハリがあって、ついていきやすいと感じた。毎回、時間外学習による課題の作成と提出が課されており、そのために授業中しっかり理解することが必要となっている。授業と時間外学習を有効に組み合わせた内容であると感じた。 課題は自己採点、再提出が可能で、目標のレベルに到達するように取り組むことにより、学生の理解を深めさせ、さらに文章力を高めるように工夫されており、大変参考になった。
	伊東 めぐみ	11月13日 (月)4時限	カウンセリング演習	赤田 太郎	赤田先生の授業「カウンセリング演習」を参観させていただきました。出席している学生は14名、授業の内容は、「催眠療法」について、講義と実技の両方を実施されていました。最初に催眠誘導の手月について講義されました。方法としてはレジュメではなく、板書しながら順を追って説明していく形でしたが、学生にもわかりやすい言葉で説明されていて、学生達は内容を理解し、集中して聞き、しっかり板書も取っているようでした。 また、説明の後コインを使って実演し、各自でも簡単な技法を行わせておられ、説明を何らかの形で裏付けすることができればより内容が深められるということを学ばせていただきました。
	安谷 元伸	11月15日 (水)2時限	接遇演習	河合 真知	少人数で和気あいあいとした雰囲気の授業開始だったが、今週から面接対策としてスーツでの受講となっており、学生たちの気持ちの引き締めとなっていた。また、サービス接遇検定で用いられる資料等を使用したRPGを主体とした授業展開のため緊張感が維持されていた。RPGで取り組む課題については、授業はじめにプリントや動画で共有し、学生が意識するべきところが明確化されていた。 目的をもってRPGに取り組むことができるため、立ち居振る舞いで修正された場所をしっかりと指摘し褒めていく手法等も含めて、担当授業でも取り入れていきたい。様々な気づきを見いだせる構成となっており、学生たちが非常にやりがいを感じる授業だと思われた。
	赤田 太郎	11月17日	医療事務総論Ⅱ	伊東 めぐみ	医療事務のフローチャートを事前に概説し、それから具体的に点数表を見ながらカルテを作成しており、とても分かりやすく学んでいる学生の姿がありました。
	河合 真知	11月17日 (金)3限	ウェブデザイン1	安谷 元伸	非常に丁寧に、学生の理解度に合わせてサポートされていることが、素晴らしいと感じました。連続した知識修得が必要で、1回でも欠席すれば、次の理解につながらない授業内容。本来は、もし欠席したなら、次回までに補講を受けて、出席すべきことは言うまでもない。それを注意し伝えながらも、欠席者用の別ファイルも用意され、迅速に対応できるよう工夫をなさっていました。全体の進行も妨げず、且つ、取り残さない授業をなさっていました。 「大学生なら自己責任」と言い切ることもできるが、できる限り引き上げていこうとなさる声掛けも随所にあり、大変勉強になりました。
	久保 覚司	11月17日 (金)3時限	ウェブデザイン1	安谷 元伸	内容としてはとても理解しやすく、また講義資料(学生への配布資料)もしっかりされており、とても参考になりました。 教室後方に座ってお伺いしていましたが、声量もちょうどよく、聞き取りやすかったです。前回欠席の学生対応に苦慮されておられるのが痛いほど伝わってきました。(自分も演習科目を担当しており、同様に悩んでいるため)